

こっこめ通信 11 2019

「文化と芸術と食欲の秋！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

今年も 10 月 26 日から 11 月 4 日まで東京都文化財ウィーク 2019 が開催されています。八丈島にも興味深い文化財がたくさんありますが、実は地元でもあまり知られていないものが多いようです。そこで、解説員が独断と偏見で選んだ文化財を一つ紹介したいと思います。今回は文化財と子供アートと縄文の味のお話しです。

八丈島西山ト神居記碑

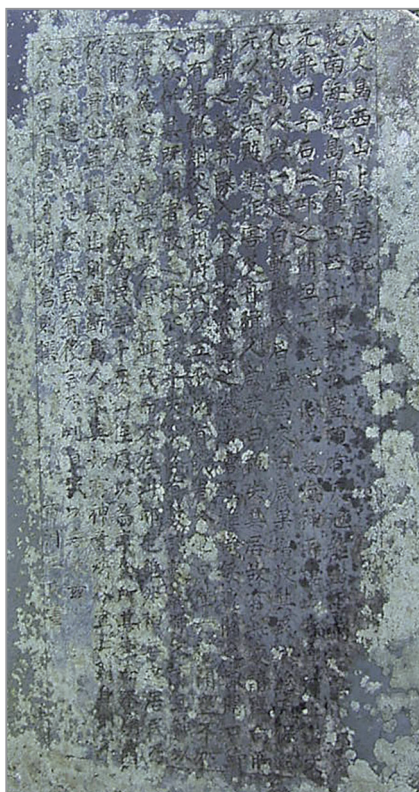


天保 5 年（1834）に当時の代官・羽倉簡堂によって建立された、八丈島西山ト神居記の石碑です。

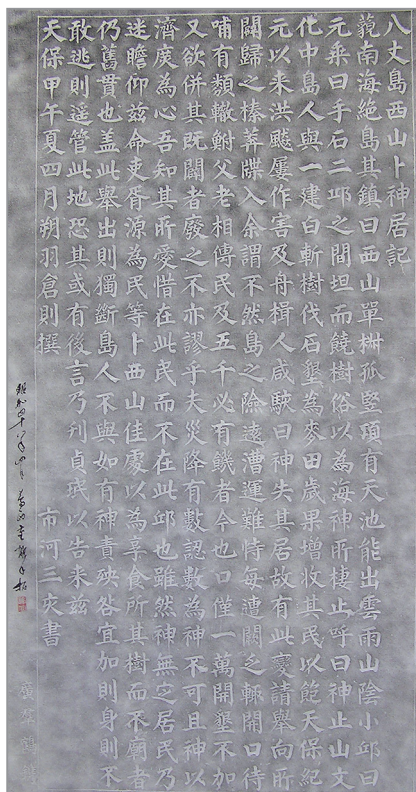
優れた儒学者でもあった羽倉簡堂が文を著し、当代随一と賞された書家の市川米庵が筆をふるい、名工の誉れ高かった石工の広瀬群鶴が彫ったとされる格調高い作品です。

三根の倉の坂近くにあり、昭和 35 年（1960）に東京都の有形文化財に指定されました。

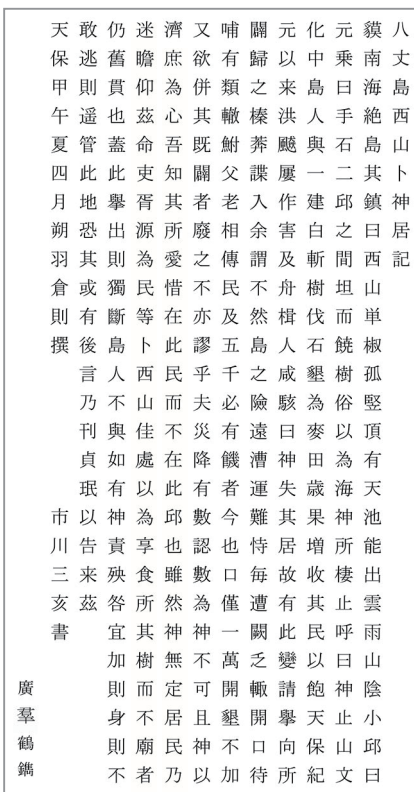
内容は、神罰を恐れて一度開墾した畑を放棄しようとした島民の心情にも配慮しながら事態を丸く収めた、名代官の裁きを後世に伝えるもので、当時の為政者の気概とその遺徳が偲ばれる、八丈島でも指折りの味わい深い文化財です。（T.K.）



石碑の表面は地衣類に覆われて文字が読みにくくなっています



優れた拓本の作品は読みやすい上に美しいものです



原文を活字にしましたが今は使われない文字もあり・・・

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

上手にできました！

10月28日、未就学児と保護者を対象とした行事「一緒に作ろう！みのむししょうだい」を開催しました。3組7名の方にご参加いただきました。

ホルトノキの紅い落ち葉や、裏表で色合いの違うグミの葉っぱ等を使い、みのむしをふたつ作りました。

ひとつめは、ビーズとあらかじめ穴を開けておいた落ち葉を綴じ紐に通し、紙粘土で作った顔に目玉パーツをつけ、ペンで口などを書き入れこれも通してできあがりです。

ふたつめは、間隔を開けて両面テープを貼った15cm程の枝にグミの葉っぱを表側と裏側を交互に貼りつけ、顔を書き入れてできあがりです。

「ひとりで黙々と細かい作業を頑張った子」「お手伝いしてもらいながら頑張った子」それぞれ表情の違う「みのむし」のしょうだい達が誕生しました。(M.H.)



縄文パンを作って食べてみた！

秋といえば「文化の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」といろいろな秋が思い浮かびます。スタッフに秋といえば？と聞くと、「食欲の秋！」と、返ってきたので、自然解説員らしい食欲の秋を考えたところ、「どんぐりを食べよう！」となりました。

そこでどうやって調理しようか調べると、縄文時代の人々もどんぐりを食べていたとのこと。それならば、縄文時代の遺跡もある八丈島で、どんぐりを食べていなかったわけがないと、「縄文パン」を作ってみることにしました。

本土でどんぐりといえば、Aのように帽子をかぶったような殻斗のどんぐりがお馴染みでしょうが、八丈島ではBのスタジイの実（島では椎の実と言うので以下椎の実と言う）です。椎の実は、渋みがなく、生食できる美味しいどんぐりです。

では簡単に「縄文パン」の作り方をご紹介します。

まず、椎の実の殻を割り中身を取り出し、すり鉢などですり潰しどんぐり粉（画像中段）を作ります。そこへ、溶き卵と山芋をすりおろして加え混ぜ合わせ、それを油をひいたフライパンで両面焼いて、出来上がり（画像下段）です。

さてさて、どんな味がするのかな…？

一口食べてみると…「味が無い！」「甘味が欲しい！」などなど、美味しいものに慣れてしまった現代人の舌には、お世辞にも美味しいとは言えない代物でした。しかしながら、遠い遠い遙かな昔に思いを馳せるいい機会になりました。

そのあとは残ったどんぐり粉を使って、バターやお砂糖、小麦粉を少し足して、「どんぐりクッキー」も作りました。

こちらはバターの濃厚な香りとほのかな甘さ、椎の実の風味が漂い、美味しくいただきました。

遠い昔に思いを馳せ、ぜひ作ってみてください。(M.K.)



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。前回 10 月 13 日は台風の影響で中止になり、スタッフだけで調査しました。

八丈植物公園季節調査（2019 年第 10 回）参加者・VC 菊池，今井

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			27	トウバナ	実	シダ植物		
1	アオツツラフジ	花	28	ナキリスゲ	実	1	イシカグマ	
2	アオノクマタケラン	実	29	ハチジョウアザミ	蕾	2	ウチワゴケ	
3	アキノノゲシ	蕾	31	ヒメムカシヨモギ	実	3	オオイタチシダ	
4	アシタバ	実	32	ヘクソカズラ	実	4	オオタニワタリ	
5	イガガヤツリ	実	33	ホソバツルメヒシバ	実	5	オニヤブソテツ	
6	イヌガラシ	実	34	ミツバ	実	6	カニクサ	
7	イワニガナ	花	35	メヒシバ	花と実	7	スギナ	
8	ウスベニニガナ	花と実	36	メリケンカルカヤ	実	8	タチクラマゴケ	
9	オオバコ	花と実	木本			9	タチシノブ	
10	オニタピラコ	花と実	1	アオキ	若い実	10	タマシダ	
11	オニドコロ	実	2	イタビカズラ	実	11	トラノオシダ	
12	カヤツリグサ	実	3	イヌビワ	実	12	ナチシゲシダ	
13	カラムシ	実	4	オオムラサキシキブ	実	13	ナンカイイタチシダ	
14	カリマタガヤ	花	5	ガクアジサイ	実	14	ノキシノブ	
15	キツネノマゴ	花と実	6	キツタ	花	15	ハチジョウカナワラビ	
16	コニシキソウ	花と実	7	シチトウエビヅル	実	16	ハチジョウシダ	
17	コミカンソウ	花と実	8	スイカズラ	実	17	ハチジョウベニシダ	
18	ザクロソウ	実	9	スダジイ	実と虫こぶ	18	ヒトツバ	
19	シマスズメノヒエ	実	10	タイミンタチバナ	実	19	ホシダ	
20	ススキの仲間	花	11	トベラ	実	20	ホラシノブ	
21	セイタカアワダチソウ	花	12	ハゼノキ	実	21	マメヅタ	
22	セイヨウタンポポ	実	13	ハチジョウキブシ	花芽	今回はシダ植物 21 種を含む 79 種の植物を観察しました。 秋も深まり、アカメガシワの葉に産み付けられたクワゴマダラヒトリの卵塊が目立ち始めました		
23	タチスズメノヒエ	実	14	ヒサカキ	蕾			
24	チヂミザサ	花と実	15	ヒメユズリハ	実			
25	テリハノブドウ	実	16	モッコク	蕾			
26	テンツキ	実	17	ヤブニッケイ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「センブリ」にスポットを当ててみたいと思います。



Photo by M.Sakurai

センブリ *Swertia japonica*

センブリはドクダミやゲンノショウコと同様、日本で古来から民間薬として利用されてきた植物です。

「良薬は口に苦し」の例え通り、生の葉をかじってもかなり苦いですが、名前の由来が「千回煎じてまだ苦い」というのは少し大げさですね。

八丈島でも秋が深まると、少し標高の高い場所の明るい切り通しなどでスッキリした白い花と濃緑の葉を見ることができます。しかし薬効があるからといって大量に採取するのは慎みましょう。

(T.K.)

2019 11 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります					1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4 ガイドウォーク	5	6	7	立冬 8	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	11	12	13	14	15	16 ガイドウォーク
17 ガイドウォーク	18	19	20	21	小雪 22	23 ガイドウォーク 八文学講座 「旅するタネを調べよう」
24 ガイドウォーク	25	26	27	28	29	30 ガイドウォーク

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
11 / 10 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「旅するタネを調べよう」

毎月行っている八文学講座。今月は植物の種子散布戦略を考えます。
11 / 23 (13:30～15:00) 中学生以上
和泉親水公園駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：15名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土曜、日曜、及び祝日 (10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2019.11.1 第222号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

秋も深まり、ぼつぼつ渡り鳥の情報も聞かれるようになりました。鳥好きがソワソワする季節がまたやってきました。(T.K.)